

第12回企業説明会

2016年6月10日

いちばんに相談したい銀行



目次

I 東海地区の景気

◇ 東海地区の景気 (1)	… 3
◇ 東海地区の景気 (2)	… 4
◇ 東海地区の景気 (3)	… 5

II 決算の概要

◇ 15年度決算の概要(P/L)	… 7
◇ コア業務純益の前年比増減要因	… 8
◇ 15年度決算の概要(B/S)	… 9
◇ 貸出金	…10
◇ 有価証券	…11
◇ 自己資本比率と配当の状況	…12
◇ 与信管理	…13
◇ リスク管理	…14
◇ 当地域所在の第2地銀各行との比較	…15

III 第16次中期経営計画

◇ 第16次中期経営計画の概要	…17
◇ 第16次中期経営計画の進捗状況	…18
◇ 16年度の業績予想	…19

◇ 営業力の強化	…20
◇ 貸出金の増強	…21
◇ 役務収益の増強	…22

IV その他トピックス

◇ 地方創生への取り組み	…24
◇ 女性の活躍推進	…25
◇ 制服の導入	…26
◇ TVコマーシャル	…27

ご参考資料

当行の沿革・プロフィール	…29
当行の収益実績	…30
主要勘定残高および利回り	…31
資産・負債残高の推移	…32
貸出金／預金の状況	…33
有価証券の状況	…34
役務収益の状況	…35
当地区における当行のシェア	…36

I . 東海地区の景気

◇ 東海地区の景気(1)

- 15年度の東海地区経済は、緩やかながらも回復・拡大。
- 輸出は一時的に減少も、景気動向指数は全国平均比良好。

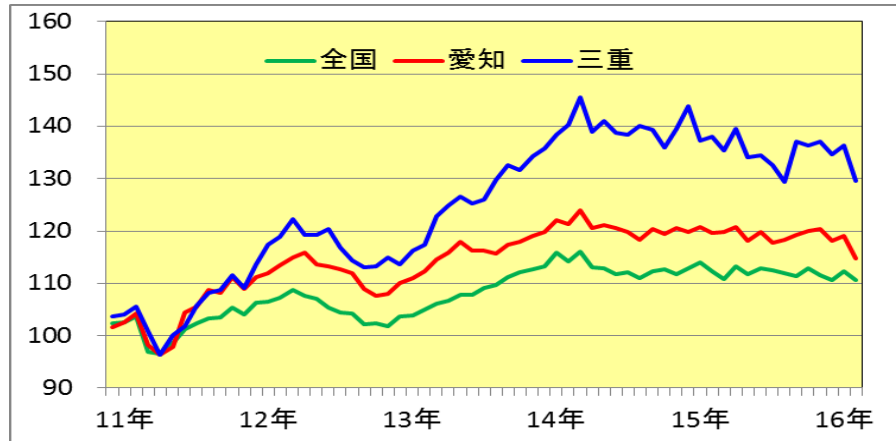
【東海3県の金融経済動向】（日本銀行名古屋支店）

公表月	景気全体
15 4 →	着実に回復を続けている。
5 →	
6 →	
7 →	
8 →	
9 ↓	輸出や生産に新興国経済減速の影響がみられるが、住宅投資・個人投資が持ち直していることから、着実に回復を続けている。
10 →	
11 →	
12 →	
16 1 ↑	緩やかに拡大している。
2 →	自動車関連での生産停止の影響から輸出・生産が一時的に減少したとみられるものの、基調としては緩やかに拡大している。
3 ↓	
4 →	
5 →	

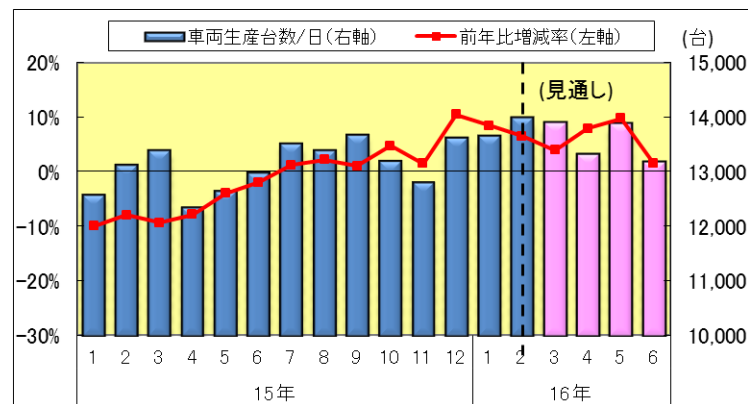
【名古屋税関輸出額推移(前年比増減率)】（名古屋税関管内貿易統計）

(%)	全国 総額	名古屋 総額	鉄鋼	自動車	自動車 部品	工作 機械	電気 機器
15 4	8	4	▲ 4	1	▲ 0	25	6
5	2	▲ 3	▲ 13	1	▲ 3	▲ 4	▲ 6
6	10	12	▲ 8	22	2	6	7
7	8	2	5	▲ 0	1	▲ 6	10
8	3	2	▲ 8	7	▲ 2	▲ 28	0
9	1	3	▲ 16	4	1	▲ 21	12
10	▲ 2	0	▲ 20	9	▲ 4	▲ 7	7
11	▲ 3	3	▲ 21	17	3	▲ 16	1
12	▲ 8	▲ 4	▲ 23	2	2	▲ 21	4
16 1	▲ 13	▲ 9	▲ 32	4	▲ 11	▲ 40	▲ 10
2	▲ 4	▲ 5	▲ 32	▲ 10	▲ 5	▲ 14	▲ 1
3	▲ 7	▲ 6	▲ 30	▲ 4	0	▲ 22	1
4	▲ 10	▲ 11	▲ 28	▲ 13	▲ 1	▲ 32	▲ 4

【景気動向指数(一致)】（内閣府・各都道府県「景気動向指数」）



【トヨタ自動車(単体)／日当たり国内生産台数・前年比増減率推移】

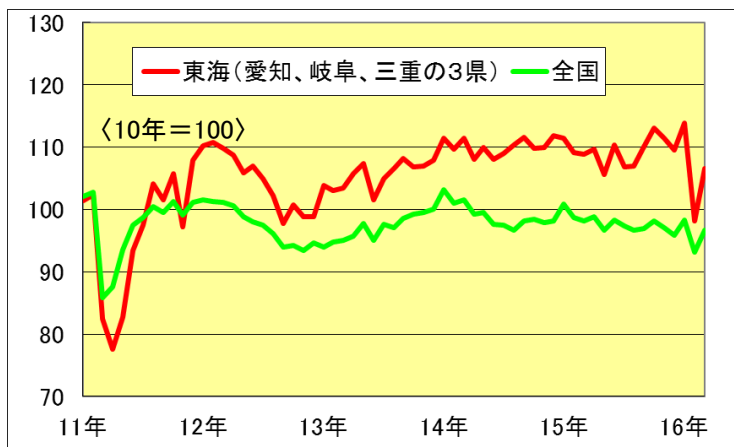


（車両販売実績：日本自動車工業会「自動車統計月報」、計画数値・稼働日：中部経済新聞社）

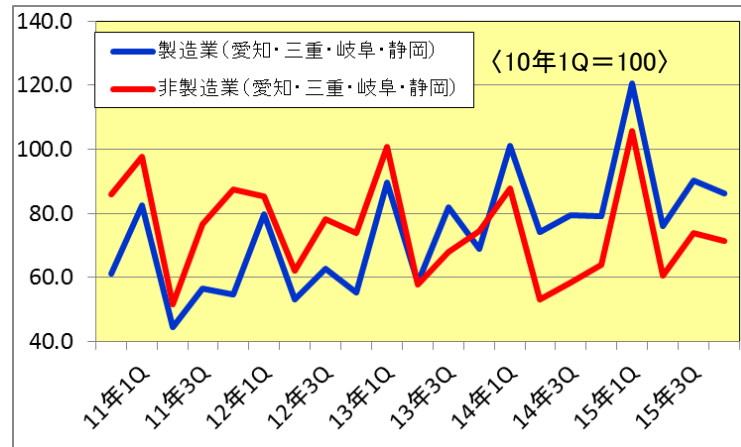
◇ 東海地区の景気(2)

- 一時的な減速はあるが、鉱工業生産や企業収益はプラス圏で推移。
- 設備投資は弱いが全国平均に比べて底堅い。個人消費は安定。

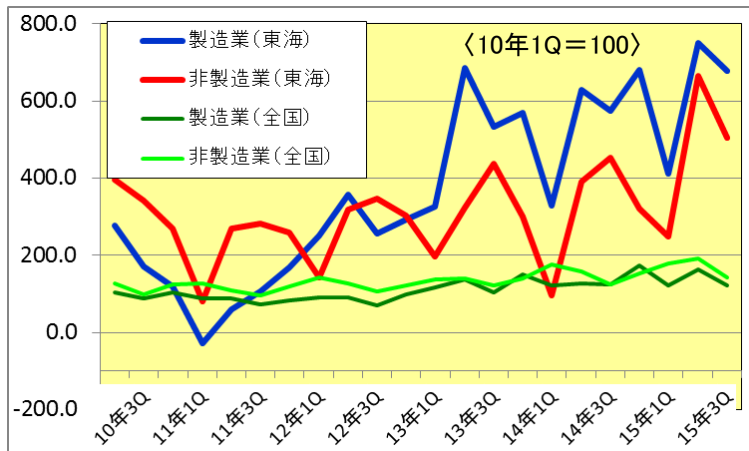
【鉱工業生産指数(季節調整値)】(経済産業省、中部経済産業局)



【設備投資(ソフトウェア含む)】(東海財務局「法人企業統計調査」)

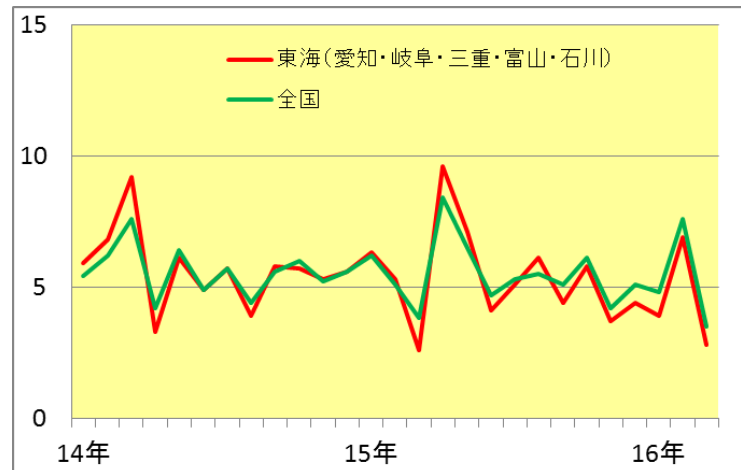


【企業収益(経常利益)】(財務省・東海財務局「法人企業統計調査」)



(東海:愛知・岐阜・三重・静岡の4県)

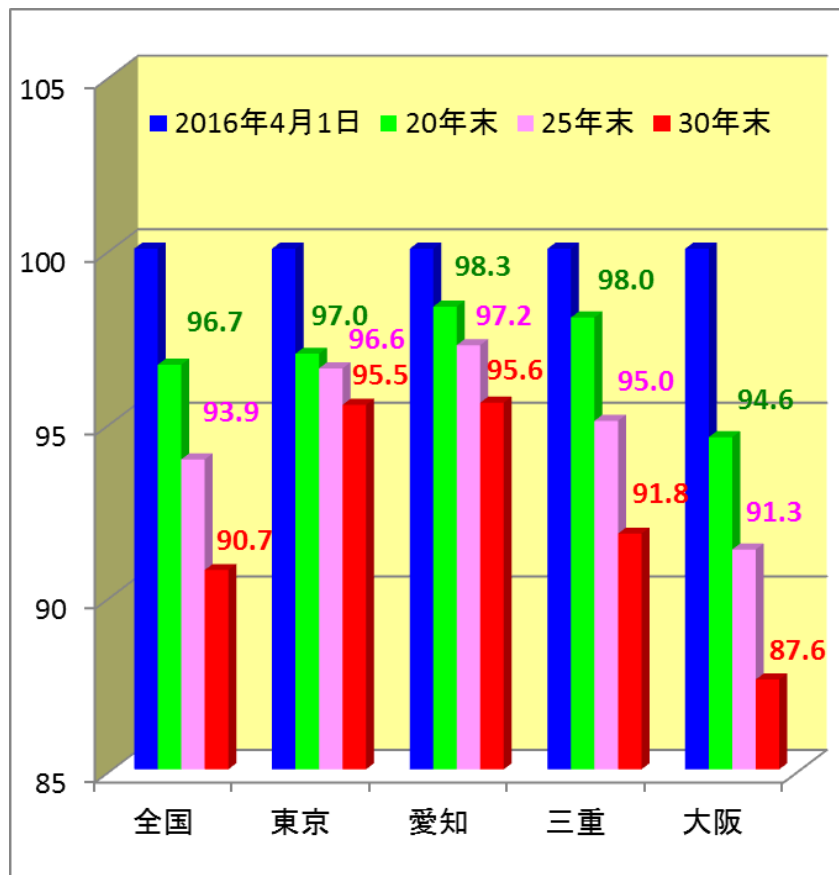
【コンビニエンスストア売上高(前年比増減率)】(中部経済産業局)



◇ 東海地区の景気(3)

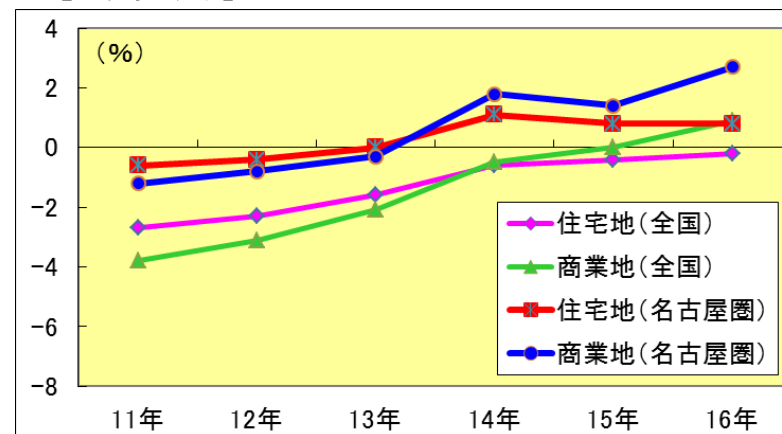
- 2020年・2030年の愛知県の人口は減少局面に入るが、その幅は相対的に小さい。
- 地価や有効求人倍率も全国平均比優位にあり、その傾向が持続することが予想される。

【人口動態推計】 16年4月1日の各人口を100とした場合の比率

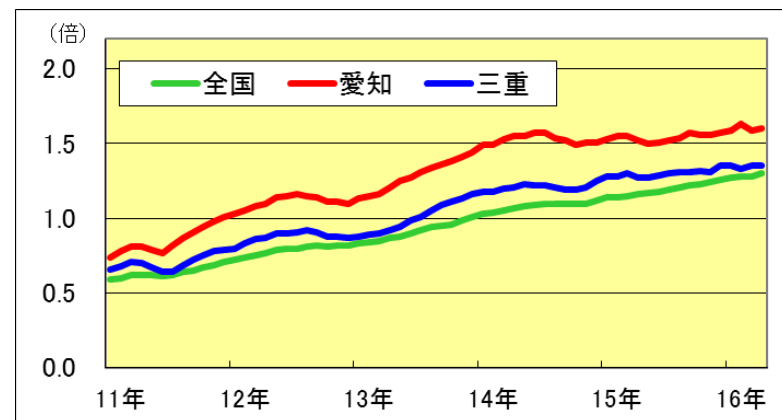


※16年4月1日の人口は、総務省および各都府県庁の公表計数を、20年以降の人口は国立社会保障・人口問題研究所の試算計数を使用

【地価変動率】(国土交通省)



【有効求人倍率】(厚生労働省、愛知・三重労働局)



Ⅱ．決算の概要

◇ 15年度決算の概要(P/L)

コア業務純益 52億円
(前年比▲7億円、年率▲12.3%)

貸出金利回り低下による資金利益の減少を主因として減益。

信用コスト 2億円
(前年比+0.6億円、年率+30.7%)

不良債権処理を積極的に進めたが、前年並みの水準。

(*) 14年度は一般貸倒引当金戻入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が戻入(0.5百万円)となったため会計上、臨時収益の貸倒引当金戻入益として計上。

コアOHR 77.9%
(前年比2.1ポイント悪化)

経費は減少したが、コア業務粗利益が減益となったことにより、前年比2.1ポイントの悪化。

《単体P/L》

		15年度		14年度
		前年比		(億円、%)
1	コア業務粗利益	236	▲9	245
2	うち資金利益	206	▲7	213
3	うち役務取引等利益	31	▲0	31
4	経費(▲)	184	▲2	186
5	コア業務純益	52	▲7	59
6	信用コスト(▲)	2	0	2
7	一般貸倒引当金繰入額	▲3	▲3	(*) -
8	不良債権処理額	6	4	2
9	有価証券関係損益	6	9	▲3
10	債券	1	7	▲6
11	株式	4	2	2
12	経常利益	54	2	51
13	特別損益	▲4	▲0	▲4
14	法人税等(▲)	12	▲7	19
15	当期純利益	38	10	28
16	コアOHR(経費/コア業粗)	77.9	2.1	75.8

前年比は百万円単位で算出し、億円単位で表示

◇ コア業務純益の前年比増減要因

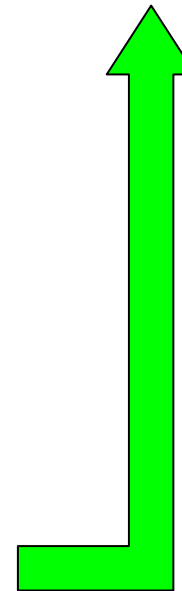
《単体P/L》

(億円)

		15年度	
			前年比
1	コア業務粗利益	236	▲ 9
2	うち 資金利益	206	▲ 7
3	うち 貸出金利息	151	▲ 10
4	うち 預金利息(▲)	13	▲ 1
5	うち 有価証券利息	73	2
6	うち 役務取引等利益	31	▲ 0
7	うち 投信販売手数料	7	▲ 0
8	うち 保険販売手数料	12	0
9	経費(▲)	184	▲ 2
10	人件費	101	▲ 0
11	物件費	71	▲ 2
12	税金	11	1
13	コア業務純益	52	▲ 7

【前年比増減要因】

残高	利回り
4	▲ 14
0	▲ 1
2	0



資金利益 前年比▲7億円

貸出金の利回り低下により、
貸出金利息が▲10億円。

役務利益 前年比▲0億円 (年率▲0.6%)

【資産運用商品】 (億円)

	投信	保険
販売額	292 (▲29)	201 (▲1)
販売手数料	7.1 (▲0.7)	12.0 (+1.0)

()は前年比

経費 前年比▲2億円 (年率▲1.1%)

人件費・物件費が減少。
税金は消費税等が増加。

【残高(平残)・利回り】

(億円/%)

14	貸出金	平残	12,246	263
15		利回り	1.24	▲ 0.11
16	預金	平残	17,071	429
17		利回り	0.08	▲ 0.00
18	有価証券	平残	5,375	131
19		利回り	1.37	0.01

◇ 15年度決算の概要(B/S)

貸出金 前年比 +138億円

住宅ローンが大きく寄与。中小企業も健闘(詳細は次葉)。

預金 前年比 +20億円

預金増強を図り、法人が増加。

有価証券 前年比 +95億円

国債・社債で残高積み増し。株式は評価益の低下で残高減少。

不良債権比率 2.91%

開示債権は144億円減少。不良債権比率も前年比1.17ポイント改善。

自己資本比率 9.47%

貸出金の増加、及び劣後債50億円の償還により、前年比0.50ポイント低下。

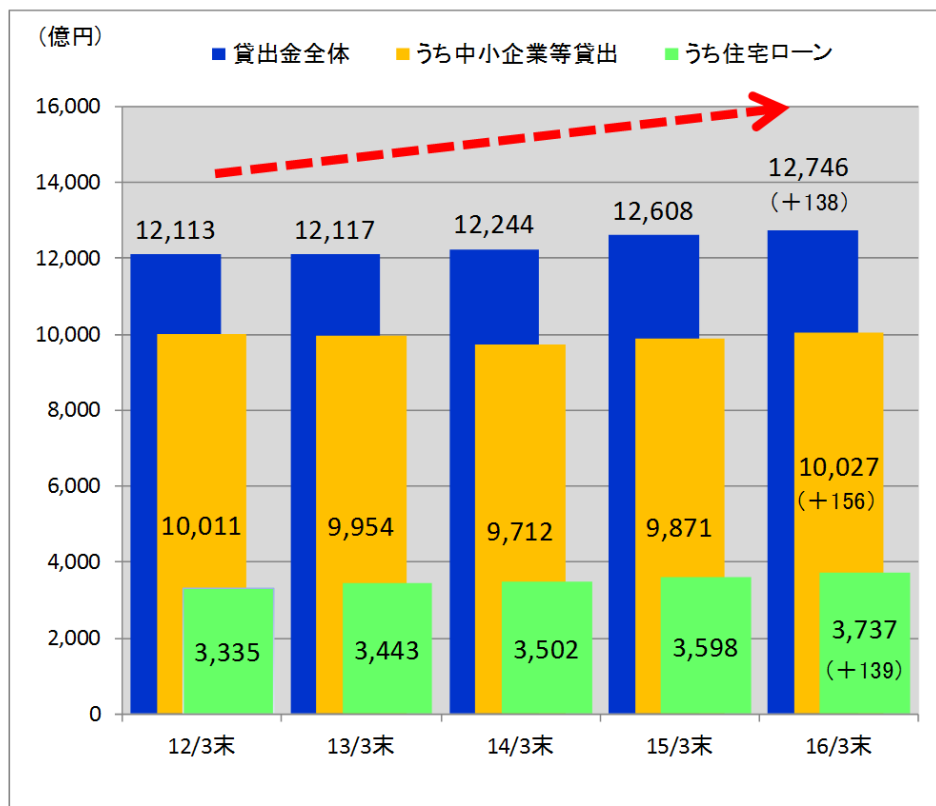
《単体B/S》

		(億円、%)	
		16年3月末	15年3月末
		前年比	
1	貸出金	12,746	138
2	うち 事業性貸出	8,891	▲ 4
3	うち 住宅ローン	3,737	139
4	預金	17,191	20
5	うち 個人預金	11,732	▲ 67
6	うち 法人預金	5,458	87
7	有価証券	5,759	95
8	うち 評価損益	345	▲ 63
9	金融再生法開示債権	376	▲ 144
10	不良債権比率	2.91	▲ 1.17
11	自己資本比率	9.47	▲ 0.50
12	リスクアセット	10,134	166
13	格付(日本格付研究所)	A/安定的	

◇ 貸出金

- 貸出金全体では前年比＋138億円の増加。
- 地域では愛知県を中心に、業種別では製造業や不動産・物品賃貸業でプラス。

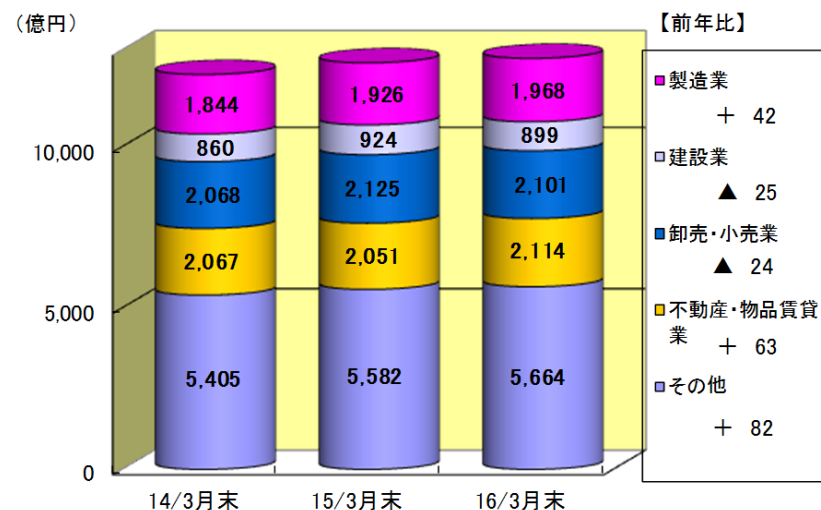
貸出金残高推移(期末残高)



【地域別貸出残高】

(億円)	13/3末	14/3末	15/3末	16/3末	前年比
愛知県	9,214	9,231	9,488	9,654	166
三重県	1,621	1,511	1,482	1,435	▲ 47
その他	1,282	1,502	1,638	1,657	19
合計	12,117	12,244	12,608	12,746	138

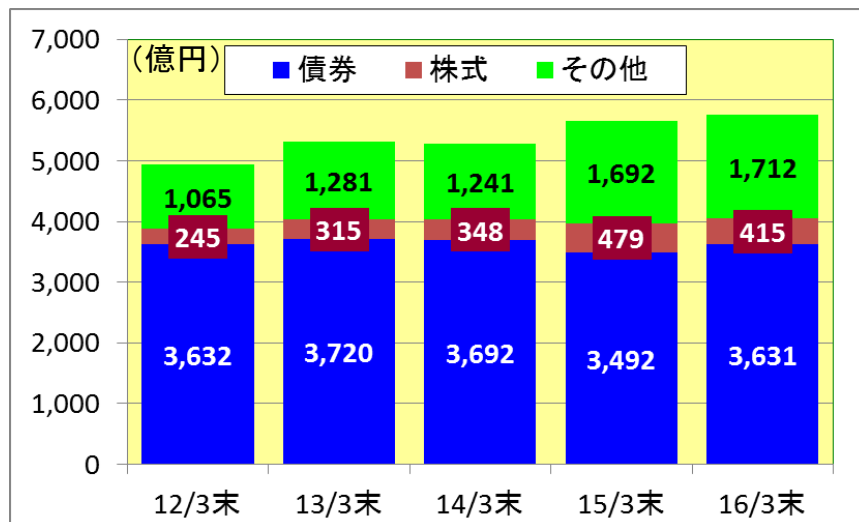
【業種別貸出残高】



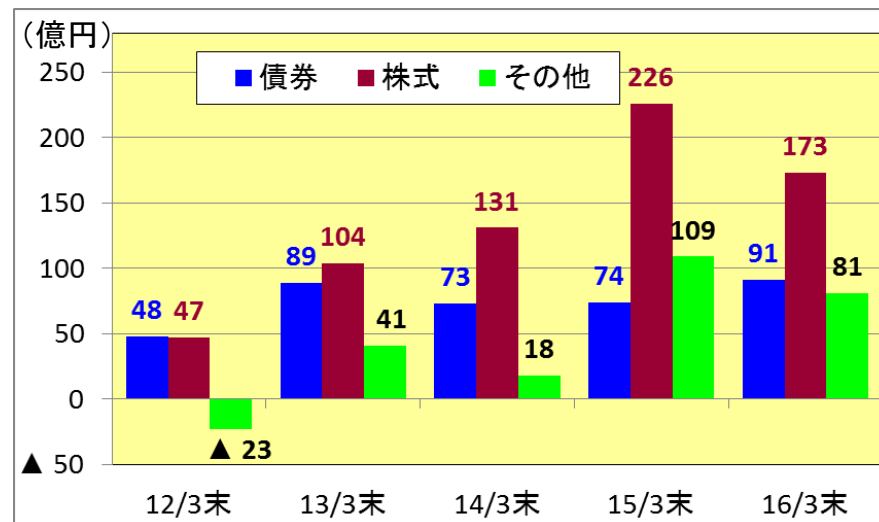
◇ 有価証券

- 株式の評価益が減少したが、国債や社債は増加。有価証券残高は前年比＋95億円。
- デュレーション、有価証券の運用利回りは、ともに前年比でほぼ横ばい。

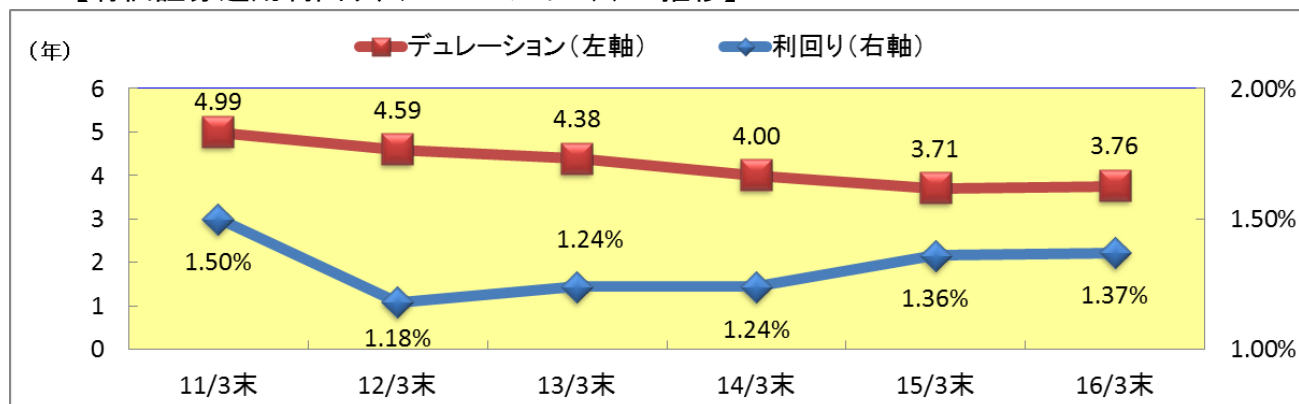
【有価証券の残高構成】



【有価証券の評価損益】



【有価証券運用利回り、デュレーション(*)の推移】

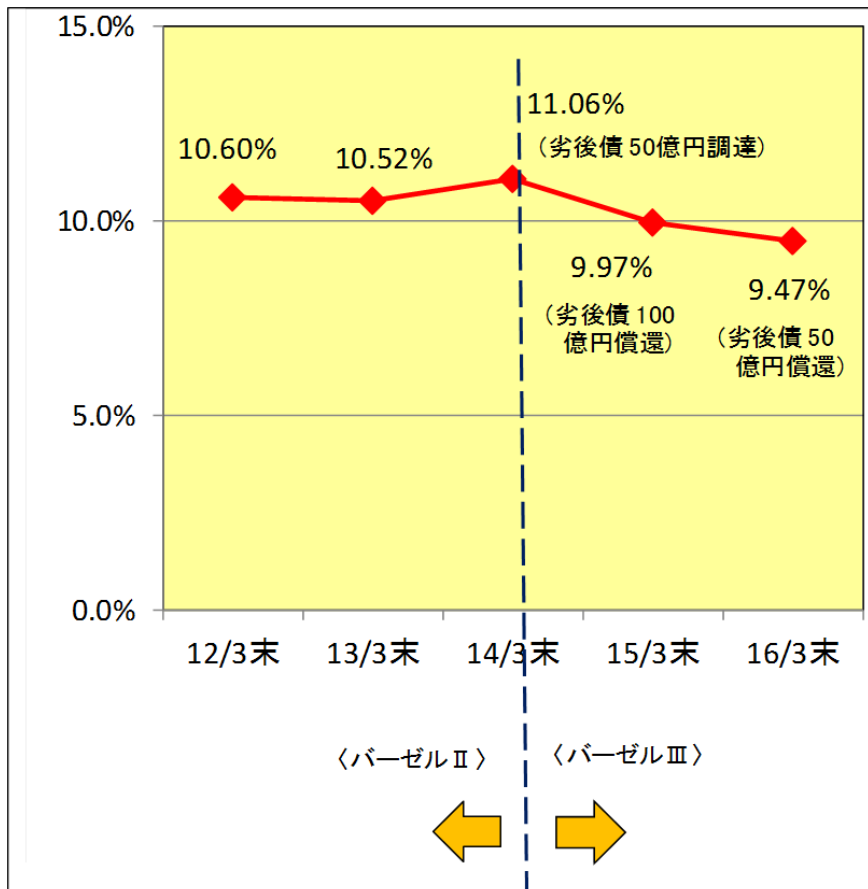


(*)デュレーションは国内債・外債合算の数値

◇ 自己資本比率と配当の状況

- 16年3月末の自己資本比率(単体)は9.47%であり、質・量ともに健全な水準を維持。
- 同比率が低下した主因は、劣後債の償還(50億円)と貸出金(リスク・アセット)の増加。

【自己資本比率の推移(単体)】



【自己資本比率の状況(単体)】

(億円、%)

	16/3末		15/3末
		前年比	
(1) 自己資本比率 (2)/(3)	9.47	▲ 0.5	9.97
(2) 自己資本の額	960	▲ 33	994
(3) リスク・アセットの額	10,134	166	9,968

【配当の基本方針】

健全経営の観点から、内部留保の充実に留意しつつ、株主の皆さまに対し、安定的・継続的な配当を維持していく。

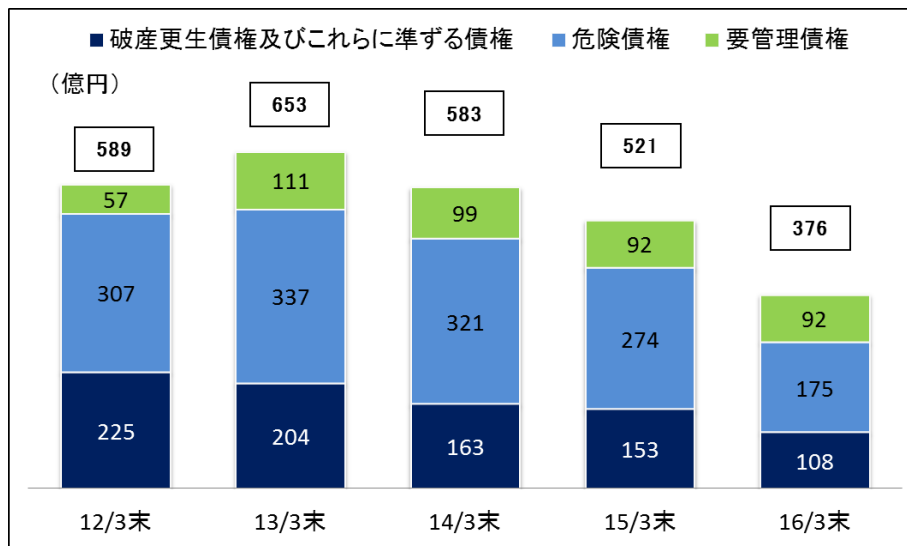
【配当の状況】

	2011 年度	2012	2013	2014	2015	2016 (予想)
配当金	4円	4円	4円50銭	4円50銭	5円	4円
配当性向 (連結)	46.0%	71.9%	32.7%	31.6%	26.8%	28.7%

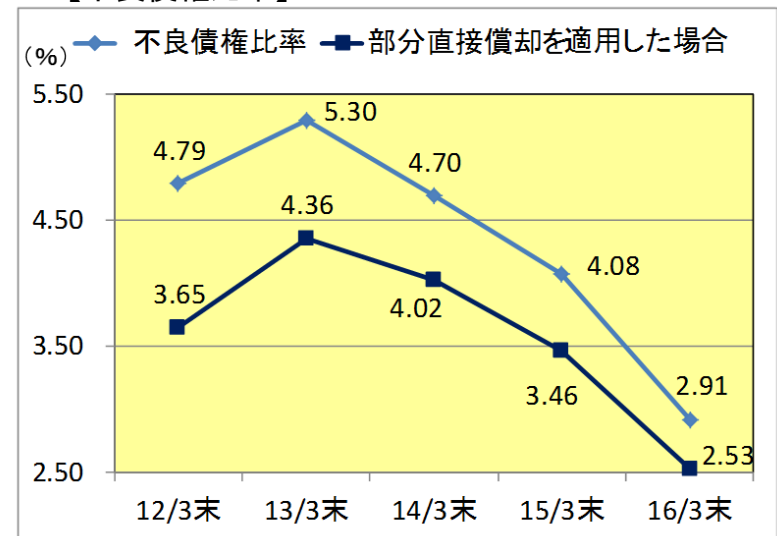
◇ 与信管理

- 不良債権比率は2.91%まで低下。
- 信用コストは16年3月期も低い水準を維持。

【金融再生法開示債権の状況】



【不良債権比率】



【信用コストの状況】

	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	前年比
個別貸倒引当金繰入額	33	30	21	7	4	▲ 2
一般貸倒引当金繰入額	▲ 19	▲ 2	▲ 7	▲ 7	▲ 3	3
偶発損失引当金等	4	4	3	2	2	▲ 0
信用コスト計	18	31	16	2	2	0

※15/3は、損益計算書上、一般貸倒引当金繰入額を“－”として表示。(P7ご参照)

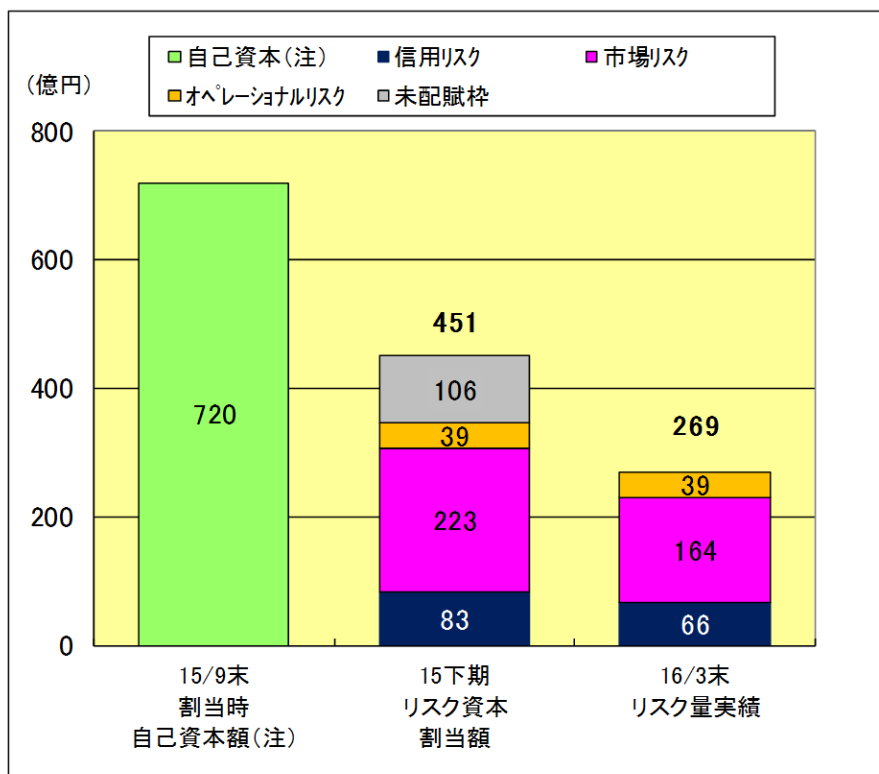
【保全率】

	16/3末	前年比
保全率 (%)	79.97	▲ 2.17
要管理債権	43.96	0.55
危険債権	86.50	1.27
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100.00	0.00

◇ リスク管理

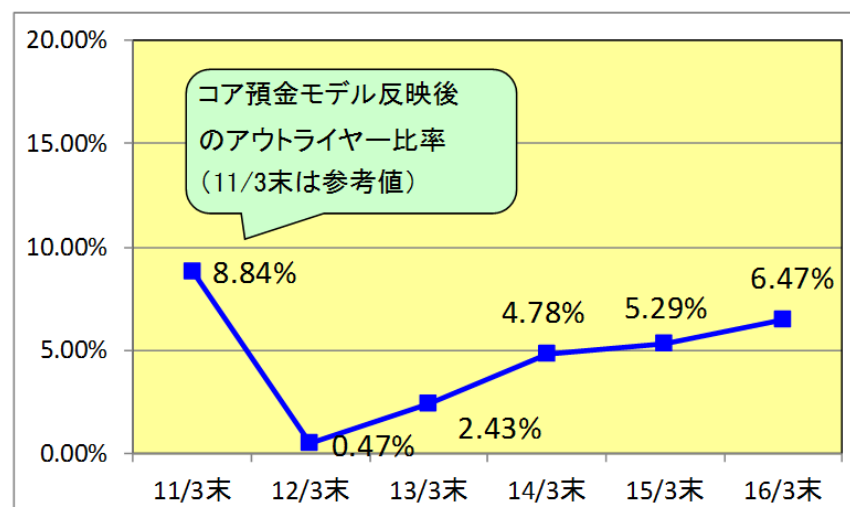
- 16年3月末のリスク量は、リスク資本の範囲内。
- アウトライヤー比率も6.47%と、引続き問題ない水準を維持。

【リスク資本の使用状況】



(注)経過措置を考慮せず、完全適用した場合のコア資本

【アウトライヤー比率推移】



【リスク量の計算方法】

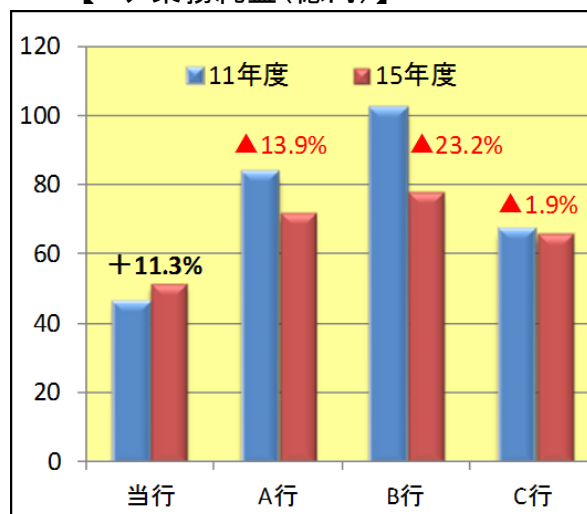
		計測手法	信頼区間	保有期間
信用リスク		VaR	99%	1年間
市場 リスク	投資有価証券・預貸取引	VaR	99%	6ヵ月間
	政策投資株式※	VaR	99%	6ヵ月間
オペレーショナルリスク		基礎的手法		

※政策投資株式は評価損益考慮後

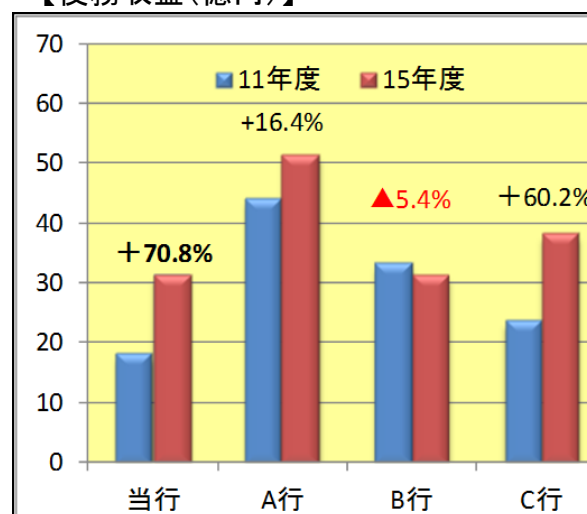
◇ 当地域所在の第2地銀各行との比較

□ 4年前の第15次中計より収益構造の改善に取り組み、コア業務純益・役務収益の増加率、および経費削減率で他行を圧倒。貸出金や預金残高の増加率は、他行比遜色ない水準。

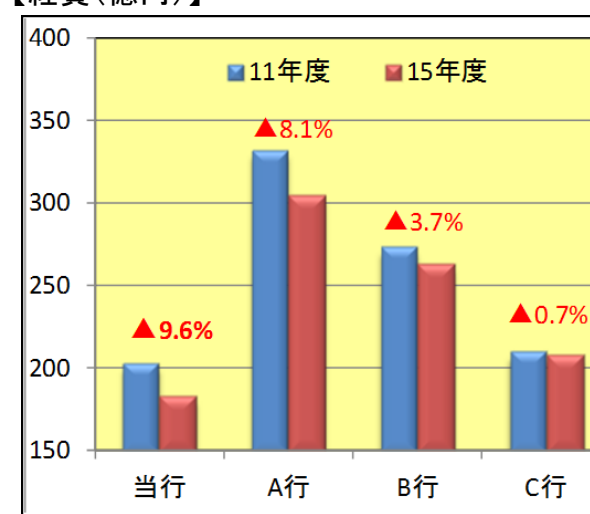
【コア業務純益(億円)】



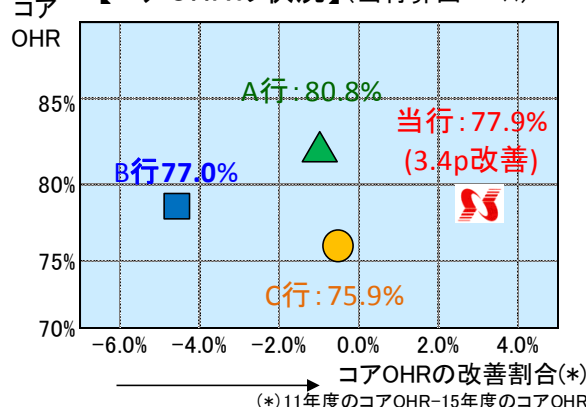
【役務収益(億円)】



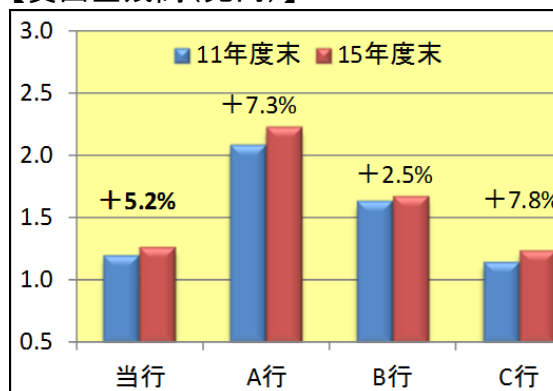
【経費(億円)】



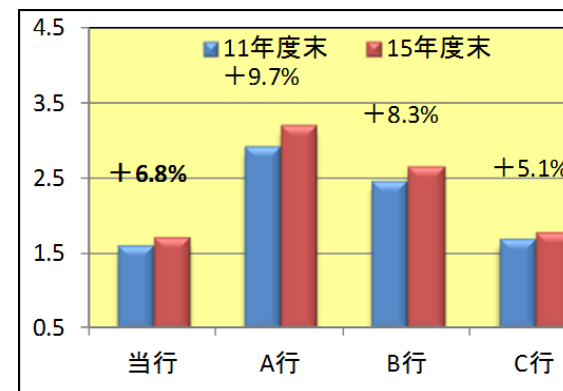
【コアOHRの状況】(当行算出ベース)



【貸出金残高(兆円)】



【預金残高(兆円)】

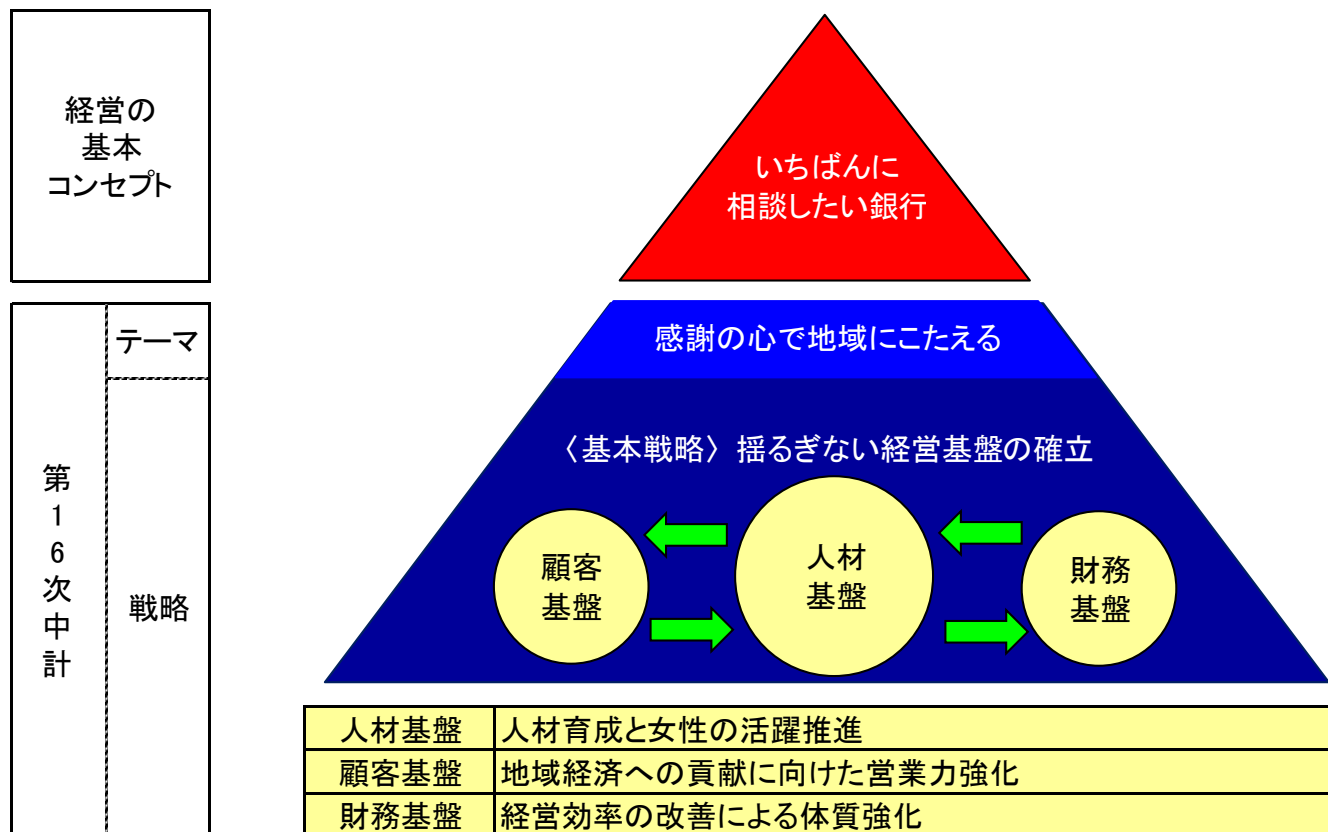


Ⅲ. 第16次中期経営計画

◇ 第16次中期経営計画の概要

- 「感謝の心で地域にこたえる」をテーマに、「いちばんに相談したい銀行」へ。
- 揺るぎない経営基盤の確立のため、人材・顧客・財務の3つの基盤を強化。

【第16次中期経営計画の概念図】



◇ 第16次中期経営計画の進捗状況

□ 経常利益、当期利益は計画を上回る。

□ 融資事業先数、貸出金残高、預金残高は順調に増加。

		(単位:億円)				(単位:億円)
		15年度 計画	15年度 実績	計画比	(ご参考) 前年比	17年度 計画
収 益 計 画	コア業務粗利益	246	236	▲ 10	▲ 9	229
	コア業務純益	55	52	▲ 3	▲ 7	41
	経常利益	41	54	13	2	31
	当期利益	24	38	13	10	21

		(単位:億円)				(単位:億円)
K P I	融資事業先数 (期末)	14,300先	14,367先	67先	602先	15,500先
	貸出金残高 (年度平残)	12,155	12,246	91	262	12,520
	中小企業向け融資残高 (下期平残)	6,856	6,770	▲ 86	116	7,000
	一般住宅ローン残高 (下期平残)	2,735	2,835	100	47	3,100
	預金残高 (年度平残)	16,935	17,071	136	417	17,440
	有価証券残高 (年度平残)	5,380	5,375	▲ 5	131	5,430
	女性管理職の比率 (期末)	10.1%	9.2%	▲ 0.9p	1.1p	15.0%

◇ 16年度の業績予想

□ 資金利益の落ち込みを主な要因として減益の計画。

□ コア業務純益45億円(前年比▲7億円)、当期利益28億円(前年比▲9億円)

(億円、%)

		15年度 実績	16年度 予想	前年比
1	コア業務粗利益	236	231	▲ 4
2	うち資金利益	206	194	▲ 12
3	うち役務取引等利益	31	38	7
4	経費	184	186	2
5	うち人件費	101	99	▲ 1
6	うち物件費	71	75	3
7	コア業務純益	52	45	▲ 7
8	有価証券関係損益	6	▲0	▲ 6
9	信用コスト	2	3	0
10	経常利益	54	40	▲ 14
11	当期純利益	38	28	▲ 9

12	貸出金	平残	12,246	12,416	169
13		利回り	1.24	1.16	▲ 0.08
14	預金	平残	17,071	17,225	154
15		利回り	0.08	0.06	▲ 0.02
16	有価証券	平残	5,375	5,373	▲ 2
17		利回り	1.37	1.26	▲ 0.11

16年度業績予想のポイント

資金利益 前年比 ▲12億円

- ・マイナス金利により、貸出金利息 ▲7億円。証券利息▲6億円

役務利益 前年比 +7億円

- ・資産運用商品の販売員の増員
- ・新商品の継続投入
- ・ビジネスマッチング手数料強化

経費 前年比 +2億円

- ・人件費は削減
- ・15年度に導入した新営業店システムの償却負担
- ・外形標準課税の増加 など

◇ 営業力の強化

□ 愛知県内の営業力強化を目的として、「尾張・三河営業本部」を設置。

□ 本部・営業店内部から渉外係へ人員をシフト。

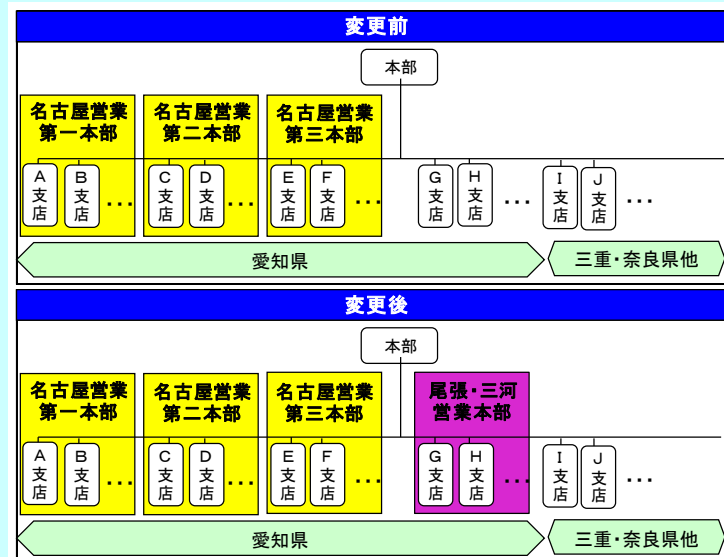
● 尾張・三河営業本部の設置

- 愛知県内に四営業本部を設置
 - ・ 2013年6月に名古屋営業本部設置
(名古屋市内に三営業本部)
 - ・ 2016年6月に尾張・三河営業本部設置
 - ・ 愛知県内全域に強固な営業基盤を構築

- 営業本部長に専任役員4名を配置
 - ・ 質の高いサービスの提供と営業力強化
 - ・ 攻めと守りの両面での体制構築

- 地元の自治体や経済団体との連携、活動強化。

【新営業体制のイメージ】



● 渉外人員へのシフト

- 本部人員の異動
 - ・ 本部業務の見直し、本部から営業店へ異動
- 営業店内部人員の係替え
 - ・ 事務量から適正人員を算出、営業店内部人員を削減、渉外係への係替え。

【渉外係へのシフト数】

(単位:人)

	15年度 実績	16年度 計画	17年度 計画
本部→渉外係	3	5	5
営業店内部→渉外係	17	20	20
渉外係の人員数(年度末)	390	405	419

◇ 貸出金の増強

□ 貸出金残高は着実に増加しており、各種施策を展開し、更なる取組の強化を図る。

□ 消費者ローン(カードローン)の利便性を向上させ、残高の増加を目指す。

● 地域密着型の貸出推進

➤ 中小企業向け貸出の増加

- ・ 長期貸出の推進
- ・ 新規事業先の獲得
- ・ 保証協会融資・融資商品の推進
- ・ 地方創生の取組み強化
- ・ 外為取引の強化

⇒ 上記貸出施策推進のツールとして、貸出商品を活用
＜中京＞地方創生ファンド、創業支援パッケージ、
補助金ジョイント融資、3事業応援マル保ローン等

➤ 住宅ローンの増強

- ・ 提携業者との取引拡大、肩代わり防止
- ⇒ 相場状況による適時適切な金利見直し

【融資事業先数】

(単位: 先)

	14年度末 実績	15年度末 実績	16年度末 計画
融資事業先数	13,765	14,367	14,900

【貸出金平残】

(単位: 億円)

	14年度 実績	15年度 実績	16年度 計画
貸出金全体	11,983	12,246	12,416
うち中小企業等貸出	9,360	9,544	9,757
うち住宅ローン	3,514	3,651	3,777

● 消費者ローンの強化

➤ カードローン「C-Style」の増強

- ・ Web画面の改善
- ・ 渉外行員による拡販、職域向けのキャンペーン展開

【消費者ローン・カードローン平残】

(単位: 百万円)

	14年度 実績	15年度 実績	16年度 計画
消費者ローン	11,490	11,556	13,100
カードローン	5,625	6,135	7,400

◇ 役務収益の増強

- 資産運用商品の販売額、収益の更なる増加を目指す。
- ビジネスマッチングを主体に、手数料ビジネスを増強する。

● 資産運用商品(投資信託＋保険)の販売

➤ 販売体制の強化

- ・ FAテラー、MAの増員、スキルアップ
- ・ 外訪活動も実施するシニアFAの育成

➤ 商品ラインナップの充実

- ・ 法人取引先への販売強化
- ・ マーケットの動きをとらえた商品推奨

FAテラー：店頭における金融商品販売の中心的な担い手として活動

MA：個人のお客さまに特化して、金融商品販売の外訪活動を実施。

シニアFA：FAテラーの上位職で、店頭営業のみならず外訪活動も実施

【投資信託・保険販売額】 (億円)

	14年度 実績	15年度 実績	16年度 計画
投資信託	321	292	410
保険	203	201	239
合計	524	493	649

【投資信託・保険販売手数料】 (億円)

	14年度 実績	15年度 実績	16年度 計画
投資信託	7.8	7.1	9.5
保険	11.0	12.0	13.8
合計	18.8	19.1	23.3

【FAテラー・シニアFA・MA数】 (人)

	FAテラー	シニアFA	MA
16/3末現在	79	18	7

● 手数料ビジネスの増強

➤ ビジネスマッチング

- ・ 新たなビジネスパートナーの紹介
- ・ 当行のお取引先とのネットワークを活用

➤ MUFG各社との連携

- ・ Business Link 商賣繁盛
- ・ 外為業務支援
- ・ コンサルティング機能の提供

IV.その他トピックス

◇ 地方創生への取り組み

- 2015年10月に地方創生推進室を設置し、自治体・商工会議所等との連携を強化。
- 「＜中京＞地方創生ファンド」により資金面から地元事業者を支援。

● 9地公体、8商工会議所と協定締結

年月	締結先
2015年9月	名張市
	愛知県商工会連合会(57商工会)
	常滑商工会議所
11月	春日井商工会議所
12月	稲沢商工会議所
	小牧商工会議所
	江南商工会議所
2016年1月	いなべ市
2月	犬山市・犬山商工会議所(3者協定)
	桑名市
	小牧市
	犬山商工会議所
	東海商工会議所
3月	尾張旭市
	津島商工会議所
	半田市
	春日井市・春日井商工会議所(3者協定)
4月	清須市

● 地方創生ファンドの取り扱い

地域資源の活用や地域産業の競争力強化に繋がる取り組みを行う事業者の方を資金面でサポート。

- ・2015年 8月 「＜中京＞地方創生ファンド」開始。
(設定枠150億円を完売)
- ・2015年12月 「＜中京＞地方創生ファンド-α」開始。
(設定枠100億円)

● 名古屋市外郭団体と観光事業等について提携

(公財)名古屋観光コンベンションビューローと提携。賛助会員を対象とする「＜中京＞インバウンド応援資金」により、観光事業等を資金面から支援。



● 「地方創生『食の魅力』発見商談会2016」の開催

第二地方銀行29行(当行含め30行)と共同で6月に開催。「地域の食品」を扱う地元企業に対し、首都圏のバイヤーとのマッチング機会を創出。食関連産業にて地域活性化を後押し。(6月29日(水)、TRC東京流通センターにて開催予定)

◇ 女性の活躍推進

- 2015年10月にダイバーシティ推進室を設置。
- 障害者雇用の拡大、パートタイマーの活用など個々の能力が最大限に発揮できる職場づくりを目指す。

【管理職に占める女性比率】

(単位:人、%)

	14年度末	15年度末	16年度末	17年度末
女性管理職	46	51	60	80
(同比率)	8.1%	9.2%	10.9%	15.0%
うち女性支店長	3	3	5	10

制度・施策	狙い・内容
ウェルカムバック制度	結婚や家庭の事情等で退職済みの行員を正行員として再雇用
短期育児休暇	男性の育児参加を後押し
ワークライフバランス休暇	仕事と家庭・私生活の両立を図る

＜愛知県と名古屋市より
女性の活躍企業に認証＞



愛知県認定ロゴマーク



名古屋市認定ロゴマーク

◇ 制服の導入

- 好感度向上ならびに職員の一層の連帯感醸成を目的として、13年6ヵ月ぶりに営業店の女性職員に制服を導入。

● 着用開始日・対象者

- ・ 2016年4月1日 営業店の女性職員(含パート、派遣)

● デザインコンセプト

- ・ 「中京銀行らしさ」を感じていただけるようなデザイン
- ・ 信頼性と安心感＝「好感」を持ていただけるようなデザイン
- ・ お客さまから身近に感じていただけるようなユニフォーム

● 概要

- ・ 営業店の女性職員を主体に「女性制服プロジェクト」を立ち上げ、女性職員にアンケートを実施し、寄せられた意見をもとに、当行のイメージに相応しく、機能性を持ったオリジナルデザイン。
＜アイテム＞

ジャケット、ベスト、スカートまたはパンツ、ブラウス、スカーフ



新しい制服の感想は？



実際に着てみると、とても着心地がよく、シャキッと身が引き締まります。お客さまからも「制服になったのね」「素敵ね」と声をかけられ、毎日袖を通すのが楽しみです。

これからも、お客さまが相談しやすい雰囲気作りを心掛けてまいります。

◇ TVコマーシャル

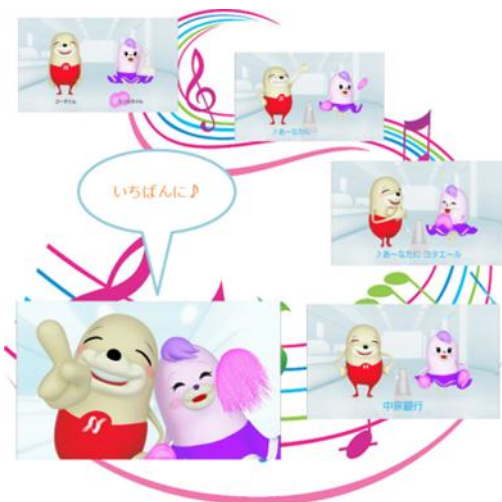
- 新コマーシャルでは、「地域の皆さまの様々なご要望に、真摯に耳を傾ける銀行であり続けたい」という思いを、二人のキャラクターに込めて制作。
- 当行の知名度アップおよびブランド価値向上を企図。

「コータくん」と「エールちゃん」が第1弾から第3弾まで登場！

新コマーシャル第1弾
～自己紹介編～



新コマーシャル第2弾
～ルフラン編～



新コマーシャル第3弾
～パートナー編～



ご参考資料

当行の沿革・プロフィール

沿 革	プロフィール（16年3月末）																																
1943： 三重県津市に八紘無尽設立	□地区別店舗数（店） <table><tr><th rowspan="2">地区</th><th colspan="2">愛知県</th><th rowspan="2">三重県</th><th rowspan="2">その他</th><th rowspan="2">合計</th></tr><tr><th colspan="2">名古屋市内</th></tr><tr><td>一般店舗</td><td>65</td><td>37</td><td>16</td><td>5</td><td>86</td></tr><tr><td>出張所</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>インターネット支店</td><td>1</td><td>1</td><td>-</td><td>-</td><td>1</td></tr><tr><td>計</td><td>67</td><td>39</td><td>16</td><td>5</td><td>88</td></tr></table>	地区	愛知県		三重県	その他	合計	名古屋市内		一般店舗	65	37	16	5	86	出張所	1	1	0	0	1	インターネット支店	1	1	-	-	1	計	67	39	16	5	88
地区			愛知県					三重県	その他	合計																							
		名古屋市内																															
一般店舗		65	37	16	5	86																											
出張所		1	1	0	0	1																											
インターネット支店	1	1	-	-	1																												
計	67	39	16	5	88																												
1945： 本店を三重県名張市に移転																																	
1951： 太道無尽を経て太道相互銀行へ 商号変更																																	
1964： 本店を名古屋市に移転																																	
1969： 名古屋信用金庫と合併、中京相互銀行 へ商号変更。現所在地に本店を移転																																	
1970： 名証1部上場	□店舗外ATM設置状況（箇所） <table><tr><th rowspan="2">地区</th><th colspan="2">愛知県</th><th rowspan="2">三重県</th><th rowspan="2">その他</th><th rowspan="2">合計</th></tr><tr><th colspan="2">名古屋市内</th></tr><tr><td>店舗外ATM</td><td>34</td><td>21</td><td>10</td><td>1</td><td>45</td></tr></table>	地区	愛知県		三重県	その他	合計	名古屋市内		店舗外ATM	34	21	10	1	45																		
地区			愛知県					三重県	その他	合計																							
		名古屋市内																															
店舗外ATM		34	21	10	1	45																											
1989： 普銀転換、中京銀行へ商号変更 東証1部上場																																	
2002： 不良債権、有価証券減損の抜本処理を 実施 UFJ銀行（現三菱東京UFJ銀行）による 資本増強、UFJ銀行の持分法適用関連 会社に																																	
2011： 新基幹システム稼働	□従業員（人） <table><tr><th></th><th>合計</th></tr><tr><td>従業員数</td><td>1,222</td></tr></table> □預貸ボリューム（億円） <table><tr><th rowspan="2">預金</th><th colspan="3">地区構成</th></tr><tr><th>愛知県</th><th>三重県</th><th>その他</th></tr><tr><td>17,191</td><td>82.6%</td><td>13.0%</td><td>4.4%</td></tr></table> <table><tr><th rowspan="2">貸出金</th><th colspan="3">地区構成</th></tr><tr><th>愛知県</th><th>三重県</th><th>その他</th></tr><tr><td>12,746</td><td>75.7%</td><td>11.2%</td><td>13.1%</td></tr></table>		合計	従業員数	1,222	預金	地区構成			愛知県	三重県	その他	17,191	82.6%	13.0%	4.4%	貸出金	地区構成			愛知県	三重県	その他	12,746	75.7%	11.2%	13.1%						
		合計																															
従業員数		1,222																															
預金		地区構成																															
		愛知県	三重県	その他																													
17,191	82.6%	13.0%	4.4%																														
貸出金	地区構成																																
	愛知県	三重県	その他																														
12,746	75.7%	11.2%	13.1%																														
2012： 第15次中期経営計画スタート																																	
2013： 創立70周年																																	
2015： 第16次中期経営計画スタート																																	
	□大株主の構成（千株、％） <table><tr><th>氏名または名称</th><th>所有株式数</th><th>比率</th></tr><tr><td>株式会社三菱東京UFJ銀行</td><td>85,343</td><td>39.24%</td></tr><tr><td>日本トラスティ・サービス信託銀行（信託口）</td><td>11,414</td><td>5.24%</td></tr><tr><td>日本トラスティ・サービス信託銀行（信託口4）</td><td>9,784</td><td>4.49%</td></tr><tr><td>ミソノサービス株式会社</td><td>7,949</td><td>3.65%</td></tr><tr><td>中京銀行従業員持株会</td><td>5,256</td><td>2.41%</td></tr></table> （比率…発行済株式総数に対する所有株式数の割合）	氏名または名称	所有株式数	比率	株式会社三菱東京UFJ銀行	85,343	39.24%	日本トラスティ・サービス信託銀行（信託口）	11,414	5.24%	日本トラスティ・サービス信託銀行（信託口4）	9,784	4.49%	ミソノサービス株式会社	7,949	3.65%	中京銀行従業員持株会	5,256	2.41%														
氏名または名称	所有株式数	比率																															
株式会社三菱東京UFJ銀行	85,343	39.24%																															
日本トラスティ・サービス信託銀行（信託口）	11,414	5.24%																															
日本トラスティ・サービス信託銀行（信託口4）	9,784	4.49%																															
ミソノサービス株式会社	7,949	3.65%																															
中京銀行従業員持株会	5,256	2.41%																															

当行の収益実績

(億円、%)

	11年度 実績	12年度 実績	13年度 実績	14年度 実績	15年度 実績
業務粗利益	264	249	242	239	237
コア業務粗利益	250	245	243	245	236
資金利益	230	225	218	213	206
役務取引等損益	18	19	24	31	31
経費	203	193	187	186	184
人件費	109	106	104	102	101
物件費	81	78	74	74	71
コア業務純益	46	52	56	59	52
当期純利益	15	9	26	28	38
総資産(平残)	17,131	17,465	17,731	18,144	18,652
貸出金	11,687	11,690	11,660	11,983	12,246
総負債(平残)	16,355	16,697	16,952	17,343	17,830
預金	15,732	15,997	16,249	16,641	17,071
OHR(経費/業務粗利)	76.9	77.4	77.1	77.7	77.5
コアOHR(経費/コア業務粗利)	81.3	78.7	76.7	75.8	77.9
連結ROE(当期純利益/純資産)	2.36	1.35	3.14	2.99	3.67
株主資本ROE(当期純利益/株主資本)	2.28	1.39	3.78	3.86	5.07

主要勘定残高および利回り



(平残 億円、収入・支出額 百万円)

	15年度			前年度比		
	平残	利回	収入額	平残	利回	収入額
貸出金	12,246	1.24%	15,195	263	▲0.11%	▲ 1,045
商品有価証券	1	1.52%	2	▲ 1	0.06%	▲ 2
金銭の信託	---	---	---	---	---	---
有価証券	5,375	1.37%	7,370	132	0.01%	201
国債	2,325	0.58%	1,370	▲ 111	0.00%	▲ 60
地方債	456	0.93%	427	8	▲0.09%	▲ 33
社債	765	0.72%	551	90	▲0.23%	▲ 91
株式	255	3.37%	861	19	0.23%	119
外国証券	965	1.81%	1,756	45	▲0.06%	30
その他	607	3.95%	2,403	80	▲0.16%	236
コールローン	0	0.12%	0	0	0.00%	0
買入金銭債権	---	---	---	---	---	---
預け金 (無利息分を除く)	474	0.09%	46	99	0.00%	10
譲渡性預け金	---	---	---	---	---	---
外国為替	76	1.20%	93	9	▲0.20%	▲ 1
その他	2	0.19%	0	1	▲31.51%	▲ 31
運用勘定計	18,178	1.24%	22,709	504	▲0.09%	▲ 867
資金運用勘定計	18,178	1.24%	22,709	504	▲0.09%	▲ 867

	15年度			前年度比		
	平残	利回	支出額	平残	利回	支出額
預金	17,071	0.08%	1,367	430	0.00%	▲ 114
円貨	16,965	0.07%	1,300	452	▲0.01%	▲ 123
外貨	106	0.62%	67	▲ 22	0.18%	10
譲渡性預金	---	---	---	---	---	---
コールマネー	1	0.07%	0	▲ 1	▲0.02%	0
債券貸借取引 受入担保金	3	0.10%	0	▲ 29	0.01%	▲ 3
借入金	274	0.10%	29	180	▲0.04%	16
外国為替	0	23.82%	1	0	11.72%	1
社債	180	1.24%	224	▲ 89	▲0.21%	▲ 168
リース債務	37	2.92%	108	▲ 5	0.04%	▲ 14
その他	0	---	342	0	---	148
調達勘定計	17,569	0.11%	2,076	485	▲0.01%	▲ 132
(うち金銭の信託 運用見合額)	---	---	---	---	---	---
資金調達勘定計	17,569	0.11%	2,076	485	▲0.01%	▲ 132

資産・負債残高の推移

(億円)

	11年3月末	12年3月末	13年3月末	14年3月末	15年3月末	16年3月末	前期比
現金・預け金	328	353	299	475	580	342	▲ 238
有価証券	4,425	4,942	5,318	5,281	5,664	5,759	95
貸出金	11,973	12,113	12,117	12,244	12,608	12,746	138
固定資産／動産不動産	218	214	211	207	214	209	▲ 5
繰延税金資産	75	52	—	—	—	—	—
貸倒引当金	▲ 302	▲ 252	▲ 225	▲ 179	▲ 161	▲ 106	55
資産の部合計	17,000	17,696	18,012	18,276	19,122	19,185	63

	11年3月末	12年3月末	13年3月末	14年3月末	15年3月末	16年3月末	前期比
預金	15,715	16,090	16,426	16,594	17,171	17,196	25
借入金	38	72	109	106	138	323	185
コールマネー	—	180	—	—	150	100	▲ 50
社債	250	250	250	300	200	150	▲ 50
繰延税金負債	—	—	3	10	75	65	▲ 10
負債の部合計	16,247	16,896	17,102	17,355	18,047	18,120	73
資本金	318	318	318	318	318	318	0
資本剰余金	231	231	231	231	231	231	0
利益剰余金	142	153	155	174	187	218	31
土地再評価差額金	52	53	52	51	55	54	▲ 1
その他有価証券評価差額金	13	51	160	153	288	248	▲ 40
純資産の部合計	753	799	909	921	1,075	1,065	▲ 10

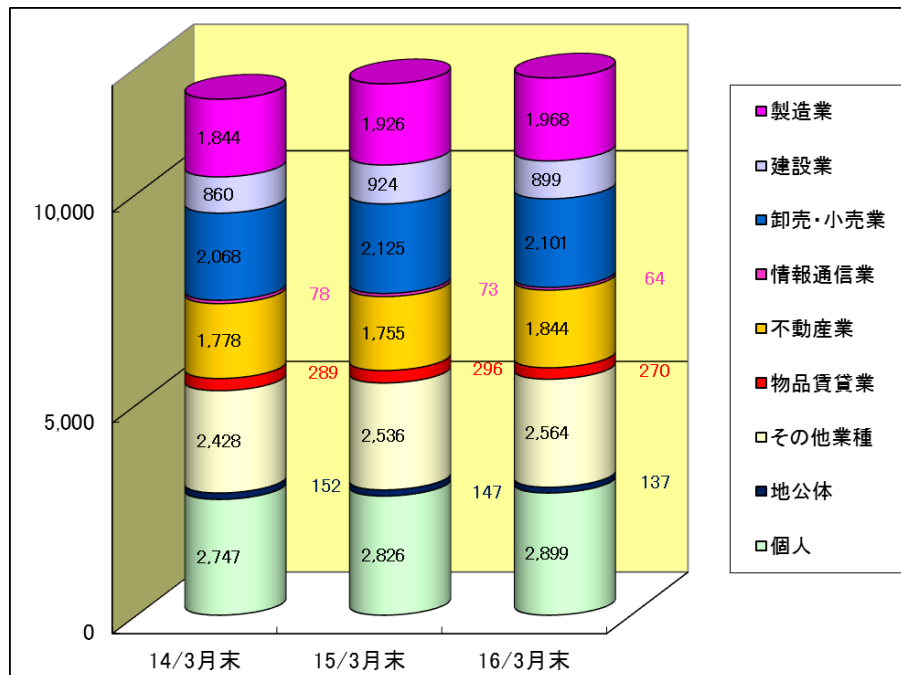
貸出金／預金の状況

【貸出金・預金(末残)内訳】

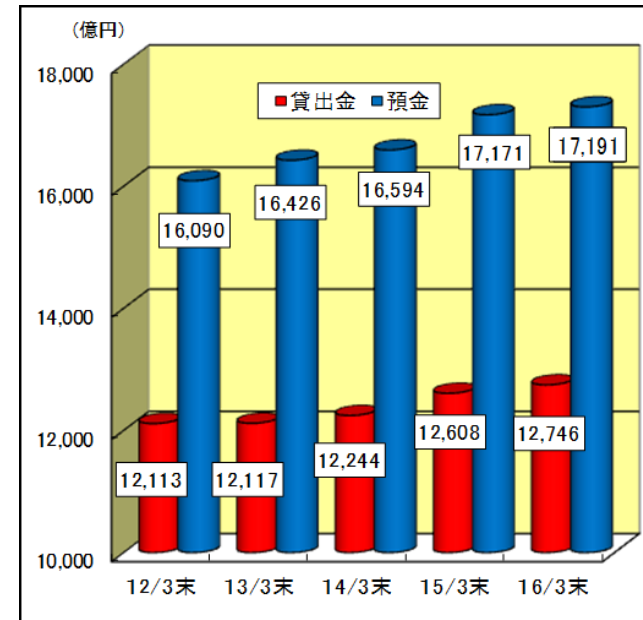
(億円)

	14/3末	15/3末	16/3末	前年比
貸出金	12,244	12,608	12,746	138
事業性	8,625	8,895	8,891	▲ 4
個人ローン	3,619	3,712	3,855	143
預金	16,594	17,171	17,191	20
法人	4,854	5,371	5,458	87
個人	11,739	11,799	11,732	▲ 67

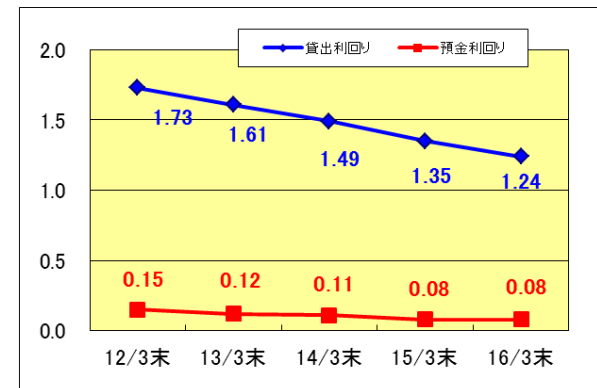
【業種別貸出残高(末残)】



【貸出金・預金残高推移(末残)】



【貸出・預金利回り推移】



有価証券の状況

【16/3末 有価証券の状況】

	貸借対照表計上額		うち 償却原価		うち 評価損益	
	(時価)	前年比		前年比		前年比
債券	3,631	139	3,540	122	91	17
国債	2,332	21	2,270	9	61	11
地方債	449	▲ 1	435	▲ 3	14	2
社債	850	119	834	116	15	3
株式	415	▲ 63	242	▲ 10	173	▲ 53
その他	1,712	19	1,630	47	81	▲ 27
外国証券	942	▲ 62	933	▲ 61	8	▲ 0
J-REIT	404	47	310	39	93	7
株式投信等	366	34	386	68	▲ 19	▲ 34
有価証券合計	5,759	95	5,413	159	346	▲ 63

(億円)

	有価証券関係損益	
	減損	売却損益
債券	0.0	1.4
国債	0.0	1.4
地方債	0.0	0.0
社債	0.0	0.0
株式	1.1	5.9
その他	0.0	▲ 0.0
外国証券	0.0	0.0
J-REIT	0.0	0.0
株式投信等	0.0	▲ 0.0
有価証券合計	1.1	7.3

【償却原価の推移】

(億円)

	12/3末	13/3末	14/3末	15/3末	16/3末	前年比
債券	3,584	3,631	3,620	3,417	3,540	122
株式	198	211	217	252	242	▲ 10
その他	1,088	1,240	1,223	1,583	1,630	47
外国証券	767	927	861	995	933	▲ 61
J-REIT	67	73	97	270	310	39
投信等	253	240	265	317	386	68
有証合計	4,871	5,083	5,060	5,254	5,413	159

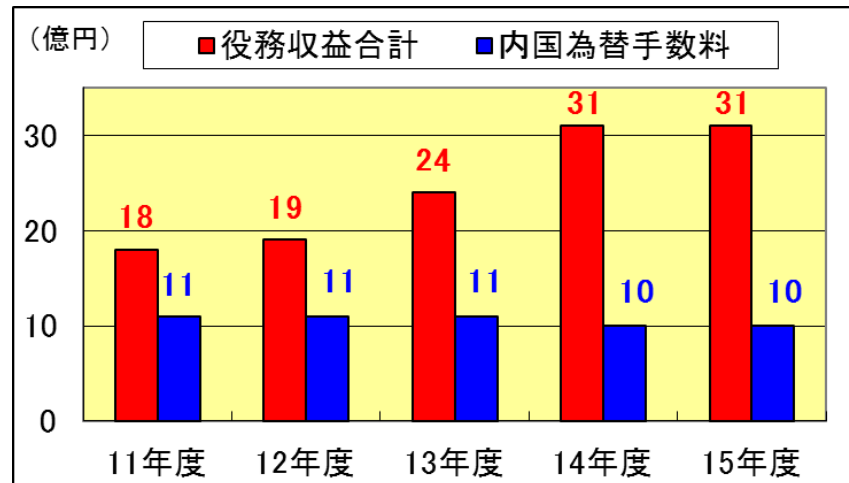
【評価損益の推移】

(億円)

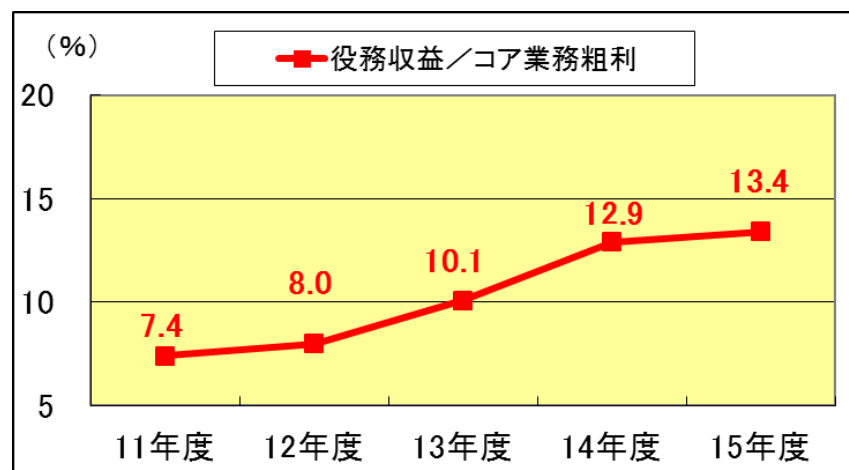
	12/3末	13/3末	14/3末	15/3末	16/3末	前年比
債券	48	89	73	74	91	17
株式	47	104	131	226	173	▲ 53
その他	▲ 23	41	18	109	81	▲ 27
外国証券	▲ 9	2	▲ 7	9	8	▲ 0
J-REIT	0	47	30	85	93	7
投信等	▲ 14	▲ 8	▲ 5	14	▲ 19	▲ 34
有証合計	72	234	222	410	346	▲ 63

役務収益の状況

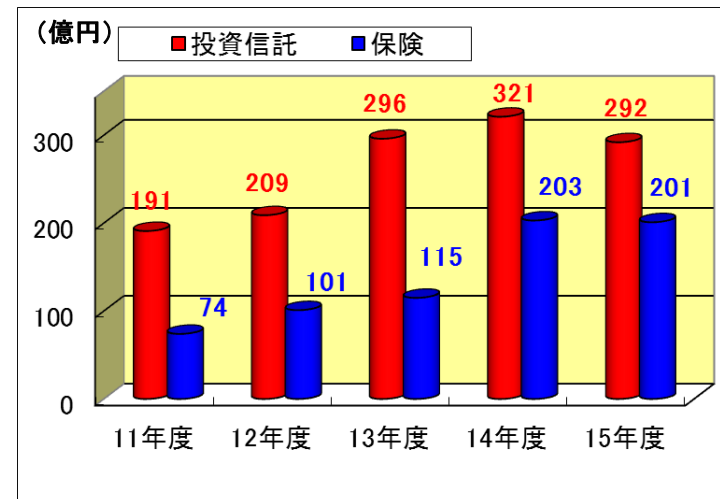
【役務収益の推移】



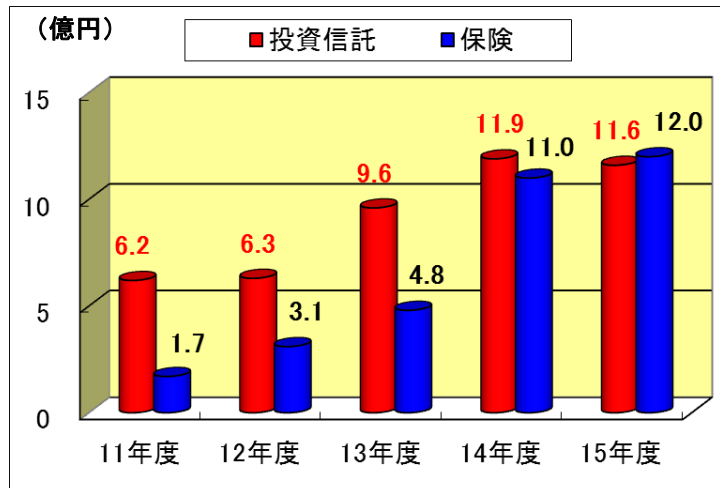
【役務収益比率の推移】



【投信・生保窓販 販売額推移】



【投信・生保窓販 手数料推移】



当地区における当行のシェア

【東海三県下の業態別預貸金残高、シェア】

(上段: 残高、下段: シェア)

(億円: %)

預金	11年3月	12年3月	13年3月	14年3月	15年3月	16年3月	前年比
都銀等	224,033 36.0	232,134 36.1	230,466 35.3	231,641 34.7	238,466 34.4	249,639 34.8	11,173 0.42
地元地銀	134,252 21.6	138,865 21.6	143,358 22.0	147,942 22.1	153,273 22.1	156,313 21.8	3,040 ▲ 0.31
地元第二地銀	80,423 12.9	82,844 12.9	84,324 12.9	86,080 12.9	88,556 12.8	89,307 12.5	751 ▲ 0.32
うち中京銀行	15,078 2.4	15,445 2.4	15,645 2.4	16,003 2.4	16,494 2.4	16,458 2.3	▲ 36 ▲ 0.08
信用金庫	175,908 28.3	180,585 28.1	185,823 28.5	193,520 29.0	203,297 29.4	211,622 29.5	8,325 0.19
その他	7,228 1.2	8,187 1.3	8,626 1.3	8,859 1.3	9,052 1.3	9,507 1.3	455 0.02
総合計	621,844	642,615	652,597	668,042	692,644	716,388	23,744

貸出金	11年3月	12年3月	13年3月	14年3月	15年3月	16年3月	前年比
都銀等	75,966 23.6	76,920 23.4	77,367 23.3	76,491 22.8	77,412 22.5	75,699 21.7	▲ 1,713 ▲ 0.75
地元地銀	87,373 27.2	89,633 27.2	89,920 27.1	91,939 27.4	95,360 27.7	98,109 28.1	2,749 0.47
地元第二地銀	53,364 16.6	54,035 16.4	54,351 16.4	54,024 16.1	54,803 15.9	56,063 16.1	1,260 0.18
うち中京銀行	10,687 3.3	10,824 3.3	10,836 3.3	10,742 3.2	10,972 3.2	11,090 3.2	118 ▲ 0.00
信用金庫	92,484 28.7	94,575 28.7	95,633 28.8	97,509 29.0	100,642 29.2	102,011 29.3	1,369 0.05
その他	12,598 3.9	14,006 4.3	14,709 4.4	15,751 4.7	16,337 4.7	16,741 4.8	404 0.06
総合計	321,785	329,169	331,980	335,714	344,554	348,623	4,069

(出展) 日本銀行名古屋支店 ※東海三県: 愛知・岐阜・三重 地元地銀: 大垣共立、十六、百五、三重 地元第二地銀: 当行、名古屋、愛知、第三、信金は2月末の計数を使用。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化等により、異なる可能性があることにご留意下さい。

<ご照会先>

中京銀行 総合企画部 永井、瀬林

TEL (052)249-1613

FAX (052)252-5921

URL <http://www.chukyo-bank.co.jp/>

